

事務事業名		田沼図書館貸出事務					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	生涯学習部	担当課	生涯学習課
	政策	2	生涯にわたり学びのあるまちづくり				担当係	社会教育係	担当課長名	飯塚昭宏	
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1	学習の場の提供				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14703	一般	10	4	3	田沼図書館貸出事務					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	35 年度 ~ 年度		根拠法令 条例等	佐野市図書館条例		任意的事業・義務的事業		任意的事業	
	実施方法						直営				
	事業分類						その他直接サービス提供事業				
リーディングプロジェクト						該当なし					
重点課題						該当なし		市長マニフェスト		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成24年度実績(平成24年度に行った主な活動内容)							
図書館資料の選定・発注・購入・配架・除籍等の資料管理を行い、貸出業務を行う。			「事業概要」と同様の事業を実施した。							
活動指標			単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)		
貸出冊数			冊	78,109	76,736	74,448	73,558			
蔵書数			冊	111,117	112,229	113,617	116,600			
1年間の図書館資料受入数			冊	2,063	1,583	1,937	2,635			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
①佐野市在住・または通勤通学者 ②両毛広域圏内在住者			対象指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
図書館を利用できる人の数(市民)			人	125,639	124,999	124,299	123,772			
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			市民のニーズにあった資料の収集と充実により、市民の読書振興を図る。							
成果指標			単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)		
市民1人当たりの貸出冊数			冊	1	1	1	1			
市民1人当たりの蔵書数			冊	1	1	1	1			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
生涯学習を行う場が充実している。			上位成果指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	
図書館入館者数			人	296,689	292,792	295,712	260,018			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	21年度(実績)		22年度(実績)		23年度(実績)		24年度(実績)		25年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	3,744	3,443	779	3,280						
	事業費計(A)	千円	3,744	3,443	779	3,280	0					
	事業費の内訳	千円	消耗品費	791	790	779	787					
			図書費	2,953	2,653		2,493					
人件費												
トータルコスト(A)+(B)			千円	13,888	13,881	2,852	13,602	0				
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3						
	のべ業務時間	時間	2,574	2,574	514	2,574						
	人件費計(B)	千円	10,144	10,438	2,073	10,322	0					

事務事業名	田沼図書館貸出事務	担当部	生涯学習部	担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和35年5月に中央公民館落成と同時に図書室を設置、公民館活動として図書の貸出を開始する。昭和54年7月に田沼町立図書館設置条例の公布に伴い勤労青少年ホームで貸出し業務を開始する。昭和56年3月に田沼町立図書館落成し、同年4月開館する。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	①近隣の図書館では、貸出冊数を10冊としているところもある。 ②合併後旧佐野市からの入館者、利用者が増える傾向にある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	図書資料は、新刊を多数、早期に取りそろえてほしい。との市民の声が多い。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
やり方改善(成果向上の見直し)	前年度は交付金が活用できたが、今年度からは利用できないため予算額が減ってしまった。
やり方改善(コストの見直し)	指定管理者制度導入のを行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	利用者の多種多様な要望に対し資料の充実を図り提供することは、読書の振興につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	図書館法により公共図書館は生涯学習の場としての役割を持っている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民の読書の振興を図るために、市民を対象に事業を行なうことは妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	指定管理者制度を導入することで、利用者のニーズに対応した貸出冊数の増や開館時間の延長による 利用者サービスの向上につなげられる可能性がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	学校図書室、公民館図書室の資料のデータベース化や運送システムの確立、職員の交流等の整備がされれば可能である。
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	人件費の削減余地がある	理由・改善案	指定管理者制度を導入することで、人件費を削減することができる。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	図書館法により、図書館無料の原則があり、対価の徴収は難しい。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	図書館がある以上図書館貸出事業について終了は難しい。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
やり方改善(成果向上の見直し)(有効性④の結果) : やり方改善(コストの見直し)(効率性⑥の結果)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	平成25年4月から、指定管理者制度の導入が行われ、提案により図書館資料費が増額となる。																					
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 指定管理者制度を導入することで、サービスの向上と経費削減を図る。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持			×																			
	低下		×	×																			